

個別施設計画

策定年月 | H31.1

施設名	津山総合体育館		所在地	津山市山北669		
敷地面積	49,000.00 m ²		棟数	1 棟 (計画記載対象 1 棟)		
延床面積	5,821.97 m ²			※対象は200m ² 以上の建物(車庫、倉庫等は500m ² 以上) ※公舎・寮は全て対象		
設置目的	スポーツを通じて県民の心身の健全な発達を図るために設置。					
【想定される自然災害】						
予想震度		5弱	津波	—	浸水	—
建築規制	非線引き都市計画区域 第2種中高層住居専用地域 建ぺい率60%、容積率200% 近隣商業地域 建ぺい率80%、容積率200%					
エネルギー使用量 (2017年度)	電気	ガス	水道	燃料 (—)		
	215,333 kwh	23 m ³	1,239 m ³	— 0		
管理上の特記事項	敷地内未利用地 なし 敷地内貸付地 なし 敷地はすべて市有地 津山市指定緊急・指定避難場所					

1 施設内建物の概況

名称	体育館棟	
築年(西暦)	1976年	
構造	鉄筋コンクリート造 3階	
建築面積	3,290.76 m ²	
延床面積	5,821.97 m ²	
主要な用途 (室名等)	アリーナ・柔剣道場 トレーニング室 事務室	
主要な設備 (屋外を含む)	電力設備(受変電設備) 電力設備(非常用発電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備 音響設備 照明設備	
利用状況	高	
耐震性 ※1	有	
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適
	中性化 ※3	不適
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適
	地盤沈下 ※5	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

設備等の更新、修繕、改修を行い、使用を継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
体育館棟	設備等について、順次更新等を行う。

3. 施設全体のスケジュール

(概要)

設備等について、順次更新等を行う。

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
体育館棟	設備等の大規模改修										外壁等改修
	設備等の定期更新 (修繕・改修を含む)			アリーナ強度補強			火災報知設備更新		照明LED化	舞台照明設備更新 舞台吊物設備修繕	玄関前タイル修繕
				柔剣道場空調機器更新		会議室等空調機器更新				非常発電設備更新 給排水設備更新 トイレ洋式化	
										音響機器更新	
										観覧席イス更新	
											柔剣道場防水塗装
											武道場LED化

4. 概算費用

総額 5億円(設備更新等)

5. 変更履歴

変更年月	変更内容
R2.1	設備等の定期更新(音響機器更新)のスケジュールを変更
R4.1	設備等の大規模改修(外壁等改修)のスケジュールを変更 設備等の定期更新(玄関前タイル修繕、舞台照明設備更新、舞台吊物設備修繕、照明LED化、非常用発電設備更新、給排水設備更新、トイレ洋式化、柔剣道場防水塗装)のスケジュールを変更
R6.1	設備等の定期更新(舞台照明設備更新、舞台吊物設備修繕、音響機器更新、観覧席イス更新、柔剣道場壁板張替)のスケジュールを変更
R8.1	設備等の大規模改修(外壁等改修)のスケジュールを変更 設備等の定期更新(玄関前タイル修繕、非常用発電設備更新、給排水設備更新、トイレ洋式化、柔剣道場防水塗、柔剣道場壁板張替)のスケジュールを変更 設備等の定期更新(武道場LED化)を追加